

白老町都市計画マスタープラン改定に係る
「事業者アンケート調査」
結果報告書

令和3年7月

白老町 政策推進課

目 次

I 調査概要	1
II 調査結果	
問 1 貴事業所の状況について	2
問 2 白老町のイメージについて	4
問 3 事業所の働きやすさ等に対する考えについて	5
問 4 事業活動とまちづくりについて	6
問 5 白老町の今後の土地利用について	9
問 6 自由記載	12

I 調査概要

■ 調査目的

都市計画マスタープランの改定にあたり、事業者目線での都市づくりのあり方や今後の方向性等について把握することを目的とする。

■ 調査期間

令和3年5月26日（水）～令和3年6月22日（火）

■ 調査方法

往復とも郵送による

■ 調査対象

町内事業所200社 ※町内事業所833社より無作為抽出

■ 回収状況

回収数：95票 回答率：47.5%

■ 調査結果の見方

- ・基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- ・百分率はNを100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。
- ・設問中の理由等の回答は、主なものを掲載しています。

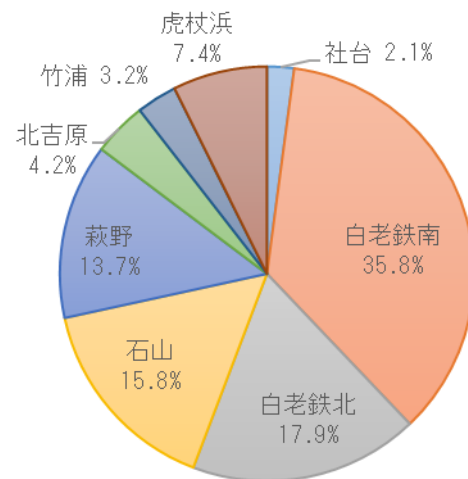
Ⅱ 調査結果

問1 貴事業所の状況について

1 貴事業所のことについてお答えください。それぞれ1つに○。(N=95)

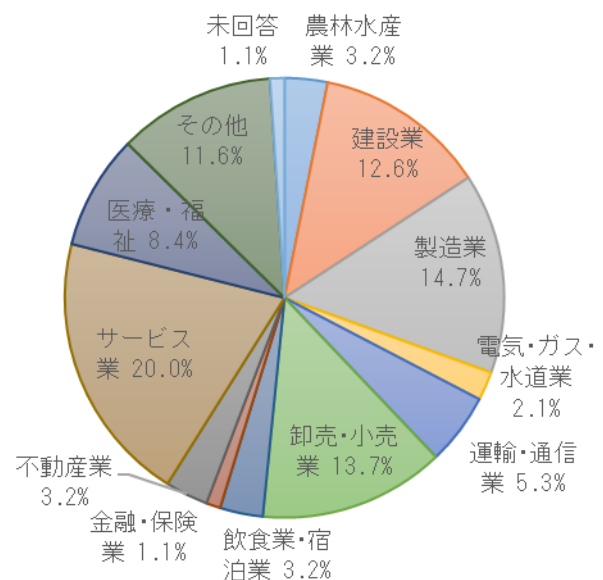
(1) 事業所所在地

NO	回答項目	回答数
1	社台	2
2	白老鉄南	34
3	白老鉄北	17
4	石山	15
5	萩野	13
6	北吉原	4
7	竹浦	3
8	虎杖浜	7
	計	95



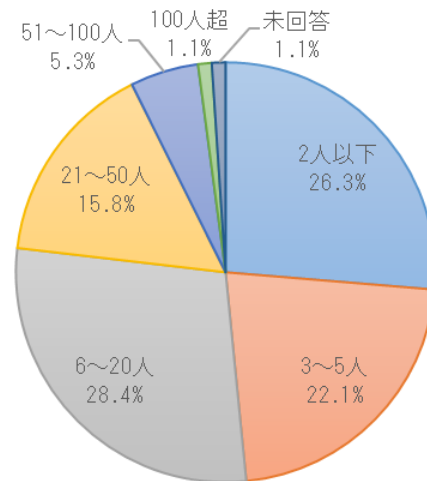
(2) 業種

NO	回答項目	回答数
1	農林水産業	3
2	建設業	12
3	製造業	14
4	電気・ガス・水道業	2
5	運輸・通信業	5
6	卸売・小売業	13
7	飲食業・宿泊業	3
8	金融・保険業	1
9	不動産業	3
10	サービス業	19
11	医療・福祉	8
12	その他	11
13	未回答	1
	計	95



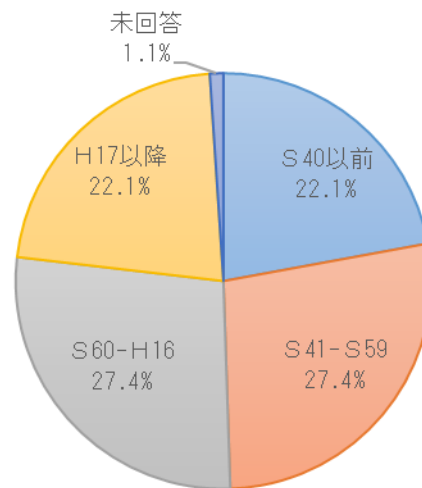
(3) 事業所の規模

NO	回答項目	回答数
1	2人以下	25
2	3～5人	21
3	6～20人	27
4	21～50人	15
5	51～100人	5
6	100人超	1
7	未回答	1
計		95



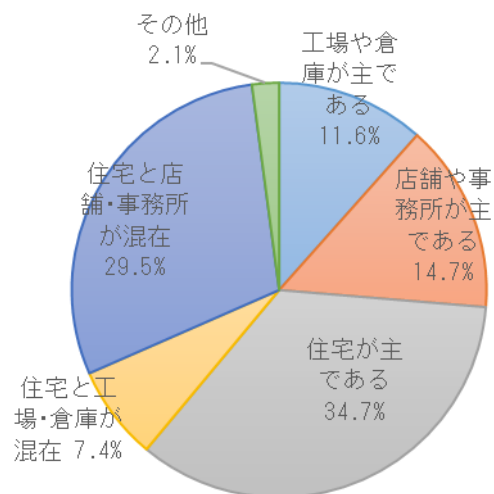
(4) 開業時期

NO	回答項目	回答数
1	S 40以前	21
2	S 41-S 59	26
3	S 60-H 16	26
4	H 17以降	21
5	未回答	1
計		95



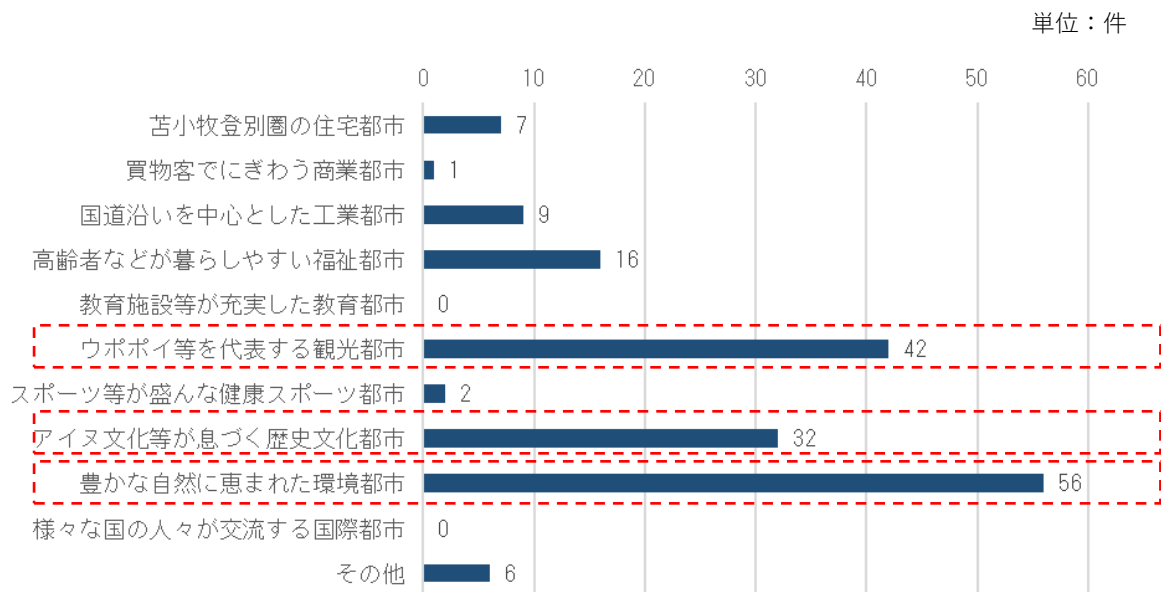
(5) 事業所まわりの状況

NO	回答項目	回答数
1	工場や倉庫が主である	11
2	店舗や事務所が主である	14
3	住宅が主である	33
4	住宅と工場・倉庫が混在	7
5	住宅と店舗・事務所が混在	28
6	その他	2
計		95



問2 白老町のイメージについて

- 1 現在の白老町のイメージについて、次のうちから近いものを選んでください。
2つに○。(N=171)



■ 「その他」の主な回答

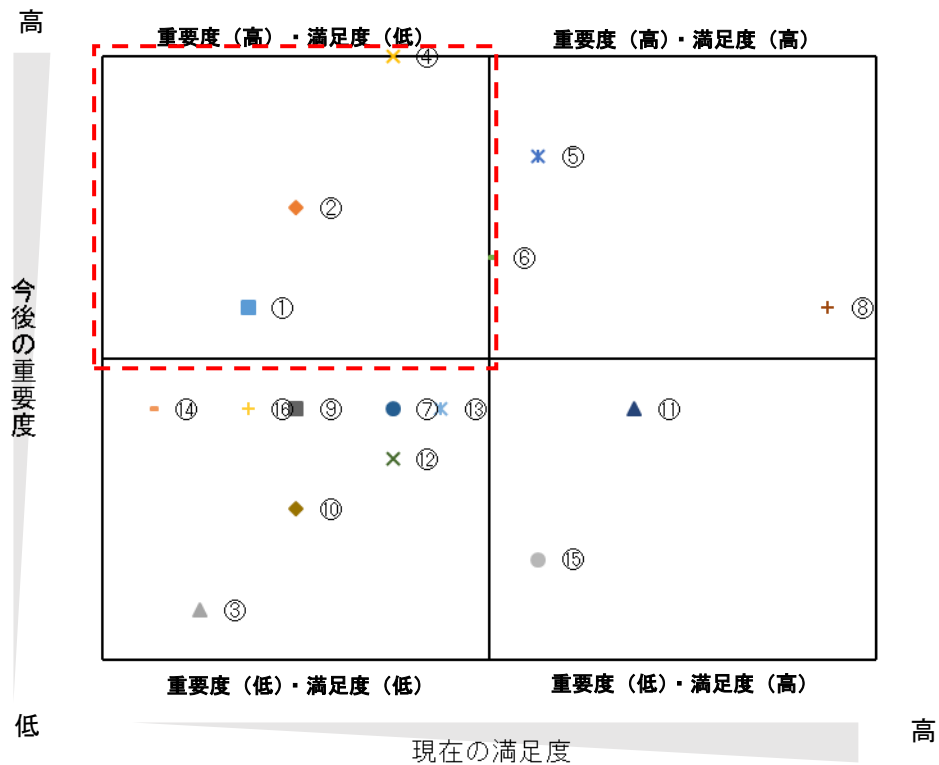
- ・ 食の美味しいまち
- ・ 6次産業推進に最適な都市
- ・ 漁師町
- ・ 障害者を大切に考えこれから更に高齢者、障害者が住みやすい町を目指している町
- ・ 自然豊かだが、医療、買い物、交通手段において不便な町

● 白老町のイメージは、豊かな自然、アイヌ文化、ウポポイ

白老町のイメージとして、「豊かな自然に恵まれた環境都市」が最も多く、次いで、「ウポポイ等を代表する観光都市」、「アイヌ文化等が息づく歴史文化都市」の順となります。

問3 事業所の働きやすさ等に対する考えについて

- 1 現在の職場周辺における状況について、①～⑯の設問にお答えください。
それぞれ1つに○。(N=95)



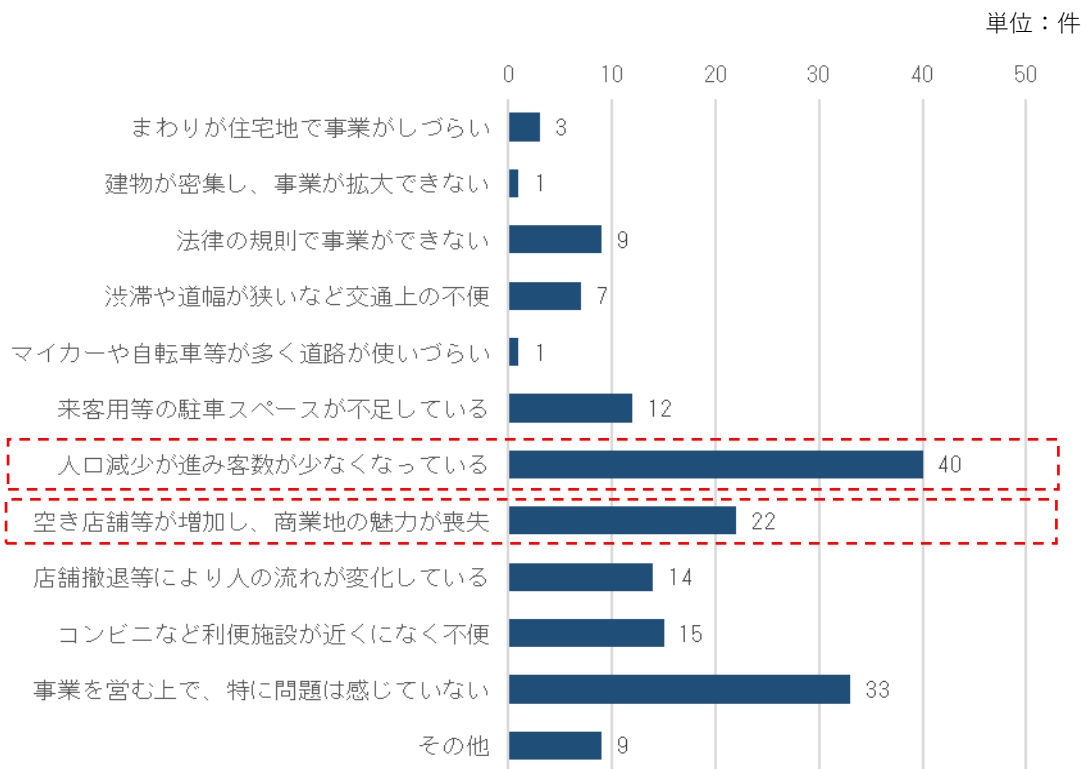
- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| ① 食料品や雑貨等の日用品を揃える商店などの多さ | ⑨ 電車やバスの便など公共交通が使いやすい |
| ② 近くに病院がある等公的な施設の使いやすさ | ⑩ 美しい建築物などの景観がある |
| ③ 日ごろ利用する公園の使いやすさ | ⑪ 緑豊かで憩いやすくなる場所がある |
| ④ 近くに避難施設があるなど災害時の逃げやすさ | ⑫ 河川・水路などの水に親しめる場所がある |
| ⑤ 道が広いなど地震や火災に対する強さ | ⑬ バス、タクシー乗り場等が整備されている |
| ⑥ 歩道や横断歩道の整備など歩行者の歩きやすさ | ⑭ 駅周辺に商業施設等が十分にある |
| ⑦ 道路が整備され自転車走りやすい | ⑮ 駅や商業施設等に自転車置場が十分にある |
| ⑧ 幹線道路が整備され車が移動しやすい | ⑯ 駅周辺の商業施設等に駐車場が十分にある |

● 「商店数」、「公共施設の利便性」、「防災」の3つが特にニーズが高い

「日用品を揃える商店等の多さ」、「公的な施設の使いやすさ」、「災害時の逃げやすさ」の3つが「重要性が高く・満足度が低い」分野であり、今後特に力を入れるべき項目です。

問4 事業活動とまちづくりについて

4-1 現在の所在地で事業を営むにあたって問題と感じているところがありますか。
2つに○。(N=166)



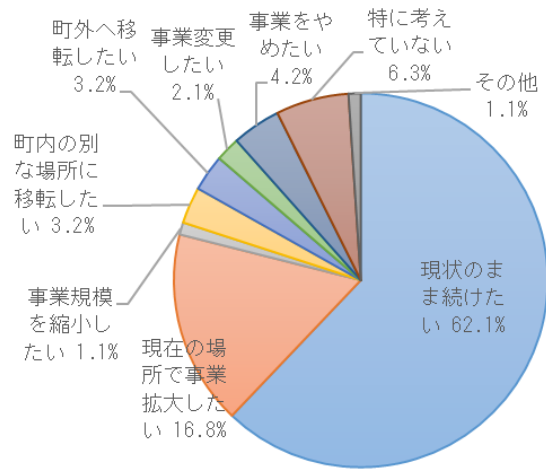
■ 「その他」の主な回答

- ・労働人口の減少、採用難
- ・町道の老朽化と維持管理水準低い。上水道の水圧低下。
- ・仕事量が減少し、事業規模を維持できなくなってきた。
- ・客の高齢化により、消費額が減少している。
- ・業種が偏りすぎている。アパレル業や雑貨店が少ない。

● 「客数の減少」、「空き店舗等の増加」など人口減少を起因とした課題が散見される営業上の問題として、「人口減少が進み客数が少なくなっている」が最も多く、次いで、「特に問題は感じていない」、「空き店舗等が増加し、商業地の魅力が喪失」の順となります。

4-2 今後の事業活動についてどのようにお考えですか。1つに○。(N=95)

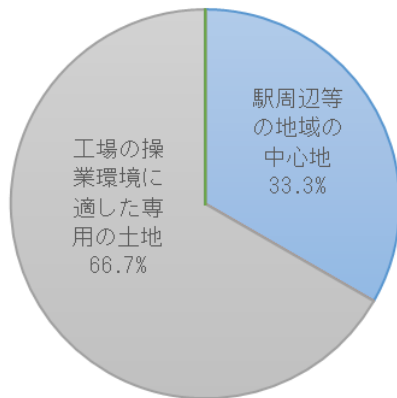
N0	回答項目	回答数
1	現状のまま続けたい	59
2	現在の場所で事業拡大したい	16
3	事業規模を縮小したい	1
4	町内の別な場所に移転したい	3
5	町外へ移転したい	3
6	事業変更したい	2
7	事業をやめたい	4
8	特に考えていない	6
9	その他	1
計		95



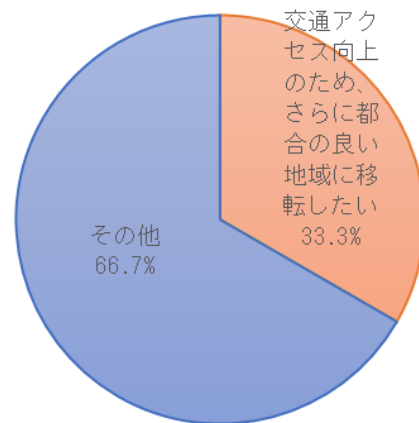
■ 「その他」の主な回答

- ・他業種の事業への進出（現事業を継続して）

4-3 2で「④町内の別な場所に移転したい」とお答えの方に伺います。移転先の「町内の別の場所」としては、どのような環境の場所をお考えでしょうか？(N=3)



4-4 2で「⑤町外へ移転したい」とお答えの方に伺います。その理由について、あてはまるものを選んでください。(N=3)



■ 「その他」の主な回答

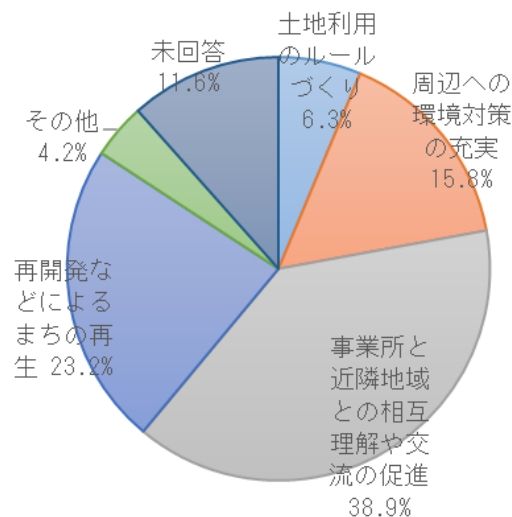
- ・将来インフラコスト、住宅不足

● 今後も現在地で営業したいと考える事業者が全体の約8割

「現状のまま続けたい」と回答した人が60%以上、「現在地で事業を拡大したい」と回答した人が約17%、計80%の人が現在地での営業を考えています。また、町外への移転や廃業を考えている人の割合は全体の約7%です。

4-5 事業所と地域との共存を図るためにどのようなことが必要とお考えですか。
1つに○。(N=95)

N0	回答項目	回答数
1	適した場所に事業の立地を促すための土地利用のルールづくり	6
2	騒音、悪臭、振動を抑制するなど、周辺への環境対策の充実	15
3	周辺住民への情報発信等、事業所と近隣地域との相互理解や交流の促進	37
4	事業に適した工業地や商業・業務地への移転や統廃合	0
5	再開発や区画整理などによるまちの再生	22
6	その他	4
7	未回答	11
計		95



■ 「その他」の主な回答

- ・ 異業種連携や住民の白老町を盛り上げようという意識をアップさせるために、役場の人たちに町にでて、話を聞いてもらいたい。地元の子供たちが地元就職したいと思う町にしたい。
- ・ 広い土地が有りながら、有効利用できない（税が高い）

● 地域との共存に必要なことは「事業所と近隣住民との相互理解と交流」

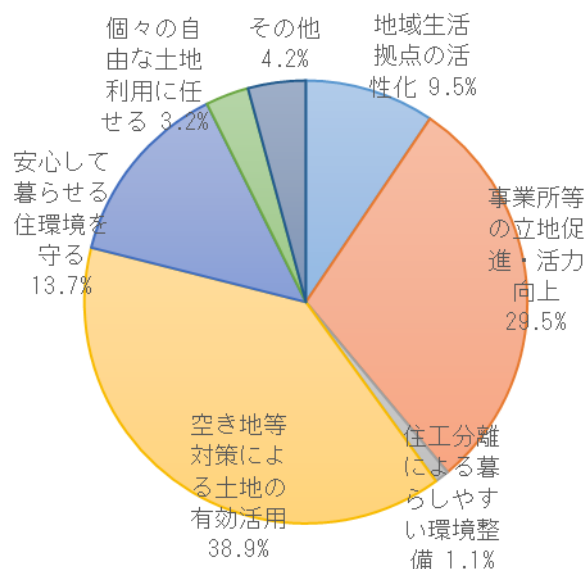
「近隣住民との相互理解や交流の促進」と回答した人が約40%、次いで「再開発等によるまちの再生」が約23%、「周辺への環境対策の充実」が約15%の順となっています。

問5 白老町の今後の土地利用について

5-1 白老町の今後の土地利用について、何を重視すべきと思いますか。1つに○。

(N=95)

NO	回答項目	回答数
1	駅周辺、学校周辺など、地域生活の拠点となる地区をもっと活性化させる	9
2	事業所や商業施設などの立地を進め、賑やかさや活力を向上させていく	28
3	住宅や工場、事務所等の分離を進め、暮らしやすく操業しやすい環境をつくる	1
4	町内の空き地や空き家の対策を立て、土地の有効利用を図る	37
5	良好なまちなみや安心して暮らせる住環境を守り、向上させていく	13
6	特に方策を立てる必要はなく、個々の自由な土地利用に任せるのがよい	3
7	その他	4
計		95



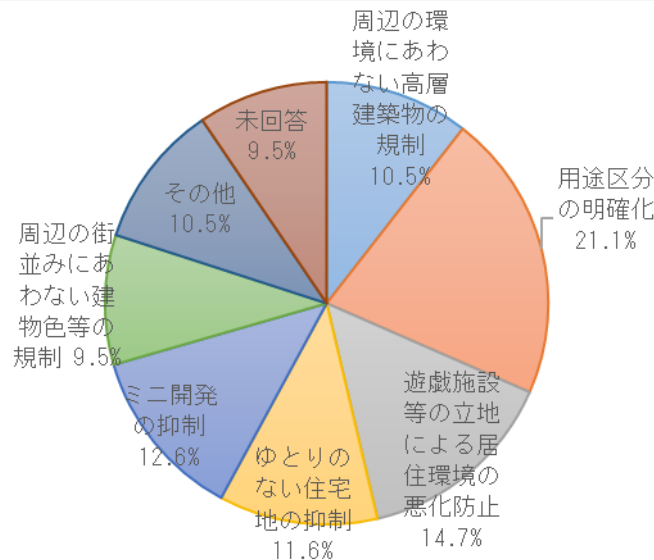
■ 「その他」の主な回答

- ・まず、人が住んでいない壊れて危険な建物を減らす。景観が損なわれるし、台風の際に屋根が剥がれて危ない。次に土地の新しい利用者を見つける。
- ・民間事業活動を「まちづくり」の原動力として捉え活用することのできる土地利用
- ・住民、観光客どちらにも楽しめる魅力的な通り（ストリート）ができるといいなと以前から思っていました。そしてストリートカルチャーが根付くとさらな面白い。

● 今後の土地利用には「空き地・空き家対策」、「企業誘致」、「住環境整備」が必要
 「空き地・空き家対策の推進」と回答した人が約40%、次いで「事業所等の立地促進」が約30%、「安心して暮らせる住環境を守る」が約15%の順となっています。

5-2 あなたは最近の土地利用について、どんなことが必要だと思いますか。
1つに○。(N=95)

NO	回答項目	回答数
1	周辺の環境にあわない高い建物が建たないようにする	10
2	住宅や工場・作業場など、用途によって建てる場所を分ける	20
3	住宅地の近くに遊戯施設などが立地して、居住環境の悪化を招かないようにする	14
4	敷地規模が小さくゆとりのない住宅地とならないようにする	11
5	ミニ開発を抑制し、行き止まりや幅の狭い道路を増やさないようにする	12
6	建物の色などが、周辺のまちなみにあわないものが建たないようにする	9
7	その他	10
8	未回答	9
計		95



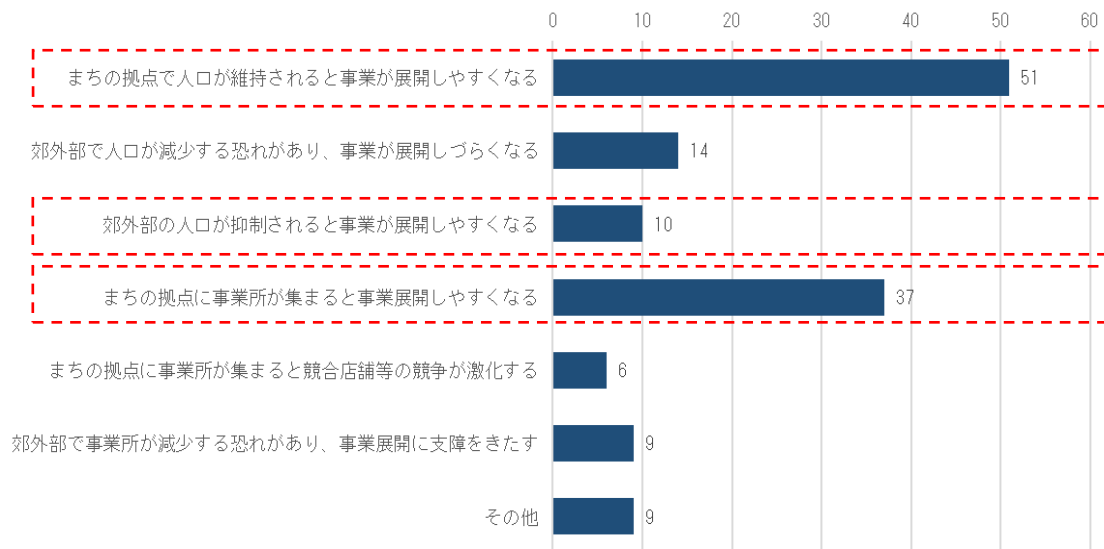
■ 「その他」の主な回答

- ・ 町の縮小を考慮したスマートシティー化。
- ・ 企業が誘致したくなるような魅力的な土地規制をしてもらいたい。若者のためにもっと働ける企業に来てもらいたい。
- ・ 地域資源を有効に活用できる土地利用。
- ・ 住宅地におけるソーラー発電所建設の規制

● 土地利用には、用途区分の明確化と良好な住環境整備が必要

「用途によって建てる場所を分ける」と回答した人が約 20%、「居住環境の悪化防止」、「建築物の高さ規制」、「ミニ開発の抑制」、「ゆとりのない住宅地の抑制」など、住環境整備に関する回答がいずれも 10%前半となっています。

5-3 近年、国では、持続可能な都市形成をめざし、都市をコンパクトに効率よく使おうとする「集約型都市」を実現するための取組を推進しています。白老町でも「集約型の都市構造」に向けた検討を始める予定です。集約型の都市構造は、まちの拠点に医療施設や商業施設等の立地を誘導し、その周辺に人々の居住を誘導するものです。この考え方について、貴事業所のお考えに近いものを選んでください。2つに○。(N=136)



■ 「その他」の主な回答

- ・ 将来のインフラを中心にしたコンパクトシティ化
- ・ 郊外住民（特に高齢者）が暮らしやすいように高齢者割引タクシーなどがあればよいと思う。
- ・ 集約型都市の目的は理解できるが、白老町の場合エリア毎の産業が多様なため、難しいのではないのでしょうか？
- ・ すでにコンパクトで過疎化しているので、立地の誘導の取り組みと同時に街の活性化が必要だと思います。
- ・ 商業の拡大なのか、工業の拡大なのか、観光の拡大なのか、ただの通過の町なのかで、取り組みが変化すると思います。
- ・ 一か所に異業種が複合するのは良いと思いますが、JRとバスの時刻を見直ししないと…マイカーがある人となない人では意味がないと思う。

● まちの拠点への集約が事業展開のしやすさにつながる

「まちの拠点で人口が維持されると事業が展開しやすくなる」、「郊外部の人口が抑制されると事業が展開しやすくなる」、「まちの拠点到事業所が集まると効率的な事業を展開しやすくなる」の3つで全体の7割以上を占めることから、まちの拠点への集約が求められています。

問6 最後に、白老町のこれからのまちづくりに対してのご提案・ご意見などがありましたらご自由にお書き下さい。

- 白老町では、町立病院の建設、町営住宅の建設、庁舎の建設が予定されているので、集約型都市を実現するチャンスととらえバラバラに計画せず、人口が維持される住んでみたい白老町の構築をみんなで構築していきましょう。
- コロナ後を見据えた今こそまちづくりのプロである行政職員の活躍が求められます。がんばってください。
- 町の中だけではなく竹浦、北吉原、萩野での商業(大規模)店舗ができると人の流れがよくなりそうですね。難しいことですが…。
- コンパクトシティにするために役場と町立病院は隣接したほうが…と思います。人口が減る(税収が下がる)手当も減るとい仕組みにすれば、もっと税収が上がるためにみんな必死になると思う。(頑張っても頑張らなくても給料が上がらなければ、苦勞をする人はいない。) 町民からの税金で給料をもらい、町外に家を建て、固定資産税を他市町村に払うのは厳しいと思う。役場の人が白老を好きで白老町に住みたいと率先して思わないと様々な施策を立案し、みんな白老町に住んでくださいと言っても説得力が全くない。逆に消費の大半を白老町にするならもっと給料が増えてもよいと思う。
- 企業を誘致し雇用を確保することで街を発展させるというモデルはすでに機能しなくなって久しいと思います。労働人口を増やす施策が必要だと思います。例えば、苦小牧や登別に比べて相対的に高い家賃相場や水道料金の高さなど白老に住みたくても条件が悪く苦小牧や登別から通勤している労働者がいます。雇用促進住宅を整備するとか町営住宅の入居条件を大幅緩和するなどを検討されてはいかがでしょうか。
- 町づくりの計画よりも白老町の住宅の紹介ツールが少なすぎる。白老町に就職しても、苦小牧市に住むことになることが多い。基本的な考え方がちがうのでは？白老町の住宅斡旋は評判が悪いですよ。
- 壊れて使用禁止テープを貼ってある遊具が白老町内のあちこちにある。使えないなら撤去してほしい。危ない。

私が考える今後の白老町(人生100年時代)

- ①ペーパーレス化社会のため日本製紙白老工場も近い将来、事業縮小又は撤退になると思う。
- ②少子化でさらに子供が減る。小学校の統合。
- ③高齢化に伴う運転免許証返納で買い物難民が増える。その後不便なので、所得にゆとりのある人は都市部の家族と同居し、人口がますます流出する。
- ④コロナ終息後、インバウンドの激増

提案

- ①について、観光、飲食に伴う企業誘致をどんどん進める。自然や地元食材を利用してくれる環境にやさしい企業
- ②とにかく働ける企業を増やす。

- ③割引タクシーや小さいサイズの郊外に出す。一日おきでも、土日のみでもよい。
- ④初期投資が少なく済む民泊の推進か補助金交付。
- ④-2 白老町ガイドか通訳できる人材を育成し、副業で世帯収入をアップさせる。楽しく働いて高齢者の生きがいがいづくりにもなる。
- ④-3 ウポポイを中心に社台から虎杖浜までを含んだ観光ルートをつくる。で旅行会社の団体客を継続的に受け入れる。アイヌ民族にまつわる話を虎杖浜のアヨロ海岸を見ながら案内する。また、幕末時代からのアイヌ民族と和人のかかわりを現地を見ながら(場所請負制度や仙台陣屋資料館)案内する。
- 町の観光資源を有機的に結びつける交通計画の制度設計と交流人口増加のためのウポポイとの相乗効果を目指した土地利用の促進を図ることを期待します
- 企業誘致に力を入れて人口増加を目指す。
- 街の財産(自然・温泉)の有効利用を促進すべく交通の利便性をよくして、温泉付き住宅、土地を活用し活性化を図る。
- 観光地にふさわしい景観を生かした町づくり
- ウポポイ(民族共生象徴空間)の近辺に白老牛やタラコ等の海産物の特産品を販売する道の駅を作り、また、駅周辺に駐車場を整備することで町内の活性化に繋げることができるのでないでしょうか。
- 企業誘致
- 白老町民が一丸となれる取り組みがあれば楽しいと思います。(何も行動しない人が文句ばかり言うイメージを払拭して、もっと魅力ある白老町になってほしいです。)
- 港の活用できる公害のない企業の誘致を図るべき
- コンパクトシティ化は人口減少社会において、早急に取り組まなければいけない課題ですが、利便性をあまりにも先行し、「住む」魅力を大切に取らえていない政策が他都市で見受けられます。景観やコミュニティの継続が置き去りの内容では、より便利な都市(札幌など)に移り住めばよいでしょうし、病院やスーパーに歩いていく人は全体から見れば少数です。具合が悪い中歩いていく人はいませんし、お米や飲料水を家に歩いて持って帰る人は一部だと思います。(主に車)ある程度まとまりを持った住みやすい街区と病院を定期的に繋ぐバス等があれば、都会のようにすべてが揃った集約型都市は必要ないと思います。(承知で田舎に住んでいるのですから)まずは、住居として集約しやすい環境を整えてあげることが大切だと思います。買い物等さらに利便性を高めることは民間企業の仕事です。
- 道の駅等の出店を希望します。食料品・スーパー等の車のない人のために駅周辺以外にもほしい。
- 白老駅周辺だけの町にとられる。その他の町はどうでもよいと思われる環境だと思います。
- 何かに関して決断する際に、今必要か不必要かの考えを十分に持ってほしい。
このアンケートを十分に生かしてほしいです。町民は感じています…職員を態度を！！
上から目線の人間が多いし挨拶からできていない。それは町長自ら反省してほしい。
そんな町には住みたくないと思います。

- ぐるぼんの北口停留所の場所を北口に移動。
昼の時間を増便。
- 人口が減少する中、これからの白老町の発展をどう維持するか。人口増加に繋げる対策、魅力を作り出してほしい。
- 土地の使用目的を厳格に定めず、ある程度の自由を担保したほうが流動性が産まれると考えます。
- 白老駅近郊の整備は良くなってきていますが、石山方面へ向かう道路は、少々問題があると思います。歩道や橋の整備が手付かずのところが多く見られるのと、バス停留所でもプレハブ等が設置されているところは良いのですが、ないところが多くベンチを設置するか役場前のような雨風を避けられるような屋根的なものを設置してほしいです。
- 各町内会でゴミの日等決められた日がありますが、今だにカラス等のイタズラがあるように思います。やはりBOX 等も設置を考える必要があります。
- お散歩をしてらっしゃる高齢者様の為に花壇の近くにベンチ等を設置するのも良いような気がします。休み休みお散歩を楽しんでいただけると、花壇のお花や街路樹を楽しんで見て頂けると思っています。
- 日頃より、町民、地域のためにご尽力いただきましてありがとうございます。人口の減少、公共設備の老朽化など、ある程度の問題を解決する上でも、「集約型の都市構造」に関する事業は重要度の高い事業だと思っておりますので、早急な対応をお願いしたいです。
- いつも白老町の為にご尽力いただき、ありがとうございます。
ウポポイが開業して、商店街に新店舗が多少は増えましたが、まだまだ空き店舗が目立ちますので、空き地・空き店舗対策をお願いします。
- 高齢者に優しく、かつ、若い世代(特に、子育て世代)に魅力のある町づくりをしてほしい。